

「ラテンアメリカの発展のために 日本とホンジュラスの懸け橋になる」

JICA ホンジュラス事務所 スヤパ・ロペスさん

スヤパ・ロペスさんは 1995 年に JICA ホンジュラス在外事務所へ入構し、27 年間ナショナルスタッフとしてホンジュラスの発展のために尽力してきました。インタビューを通して、スヤパさんの同国のナショナルスタッフとしてプロジェクトに関わることの動機・想いを伺うことができました。また、「ホンジュラスだけではなくラテンアメリカ地域の在外事務所間での頻繁なコ



JICA ホンジュラスでの文化交流（右より 3 番

ミュニケーションは、情報や経験共有のため、また同地域におけるよりインパクトがあり持続可能な広域プロジェクトを実行するために必要である」というコメントには非常に感銘を受けました。スヤパさんの協力と開発に対するビジョンは、常に同国だけではなく世界を見ていると、インタビューを通して実感しました。

●JICA ホンジュラス在外事務所では何をご担当されていますか？

これまでホンジュラス事務所では多種多様な業務を経験してきました。事務所の運営管理から始まり、JICA 専門家や協力隊ボランティアの方々のホンジュラスに滞在するために必要な在留手続きなども担ってきました。そこから、様々な分野における国際協力について徐々に学んでいきました。例えば、当時のホンジュラス基幹プロジェクトの 1 つとも言えた PROMETAM（ホンジュラス算数指導力向上プロジェクト）という数学教育プロジェクトに携わる機会もありました。現在は、地域開発セクター案件や「治安」をテーマにした地域警察活動支援プロジェクト、また、地域金融機関を通しての ACVTIO プロジェクト（貧困削減のための金融包摂プロジェクト）を担当しています。「ACTIVO」とは西語の Ahorro, Cuenta Financiera, Trabajo e Ingreso para la Vida Optimizada の頭文字をとったこのモデルの略語であり、日本語では「より良い生活のための貯蓄、家

計管理、労働活動、収入」という意味です。そして、自治体の計画管理の強化を目的とした FOCAL プロジェクト（地方開発のための自治体能力強化プロジェクト）も携わっています。



FOCAL プロジェクトへの視察：FOCAL プロジェクト専門家と生活改善の専門家と共に Mangos 集落への訪問（写真右から 2 番目）

●現地事務所のお仕事でのやりがいは何ですか？

まず、新しいことを学ぶ機会が沢山あることです。これまで事務所での仕事を通してこれまで自分が国際協力分野に関して知らなかったことを学ぶことができました。また、私たちが実施してきたプログラムやプロジェクトを通して多くのことを学び、自分の国についてより深く知り、新たな人々に出会うこともできました。



専門家との FOCAL プロジェクトに関する打合せ（写真中央）

更に、PROMETAM プロジェクトで作成した教師用指導書内容が国内の学校で教材として使われたことは、とても嬉しかったです。他には、日本での地域警察に係る研修が、ホンジュラスでのフォローアップ研修へと、また 10 年以上継続している技術協力案件へと形成された過程を間近で見ることができたことも非常に満足しています。FOCAL のような協力プロジェクトを通して、参加者自ら地域発展のために地域資源を活用して生活改善に取り組み、生活環境がどのように変わったか、直接聞けることにもとてもやりがいを感じています。

●JICAの特徴とは何ですか？

まず、1人のホンジュラス人として自国の発展にこれまで貢献できる機会を与えてくれた場所として JICA にはとても感謝しています。JICA はホンジュラスに多大な恩恵を与えてくれました。JICA は技術協力、無償資金協力、また有償資金協力のスキームを通して途上国支援を進めています。他のドナーも途上国を支援していますが、私たちが彼らと異なる点は、実施案件のカウンターパートから信頼を得られることです。案件に関わってくださった機関やスタッフの皆さんはいつも JICA に感謝の意を述べてくれます。なぜなら、JICA は、彼らの文化や政治に対して敬意を払って共に働いてくれるからです。JICA は人材育成・経験共有も被援助国の発展に重要なプロジェクトとして捉え、プロジェクトにおいて人材開発に注力しています。

個人レベルでは、JICA はナショナルスタッフへ、新規分野における案件形成・実施について主導権を与え、対象コミュニティと直接やり取りをする機会を持つことができます。ホンジュラス事務所の日本人スタッフは常に私たちの声に耳を傾けてくれるので、在外事務所ナショナルスタッフの私たちも JICA の家族の一員だと感じることができます。また、日本は各種橋梁整備事業を通じてホンジュラスに多くの橋を架けてくれましたが、JICA 事業を通じて架けられた最も重要な橋は、「ホンジュラスと日本の両国の友好関係」だと思っております。

●JICA ホンジュラスのナショナルスタッフとして最も大切にしていることはなんですか？

情報交換ためのコミュニケーションがとても重要です。なぜなら、私たち 1 人 1 人が JICA での業務を通して培ってきた知識や経験のシェアが、他のプロジェクトへインパクトや相乗効果をもたらすことがあるからです。コミュニケーションによって他のプロジェクトでも利用できるたくさんのアイデアが生まれます。また、協働できる可能性のある分野や、実施中のプロジェクト評価についても情報・意見交換ができます。

●JICA でのお仕事に興味がある方々へ何かメッセージはありますか？

みなさんもホンジュラスだけではなく他国の発展を支えるアクターになれます。



JICA ホンジュラス事務所の皆さん

聞き手：

古谷 幸暉

JICA 中南米部中米・カリブ課インターン

活動期間：2022 年 10 月～2022 年 11 月